平成18・19年度　競争入札参加資格申請の受付期間変更

問い合わせ　契約課　☎38-2012

競争入札に参加するためには欠かせない手続きです。登録申請は、２年に１回(年度途中は行いません)です。※受付期間が変更になっています。ご注意ください。

【測量・建設コンサルタント等、物件等、物品の納入、役務の提供等】
■申請書配布　現在、配布中。
■申請書受付　12月５日～12月16日
【建設工事】
■申請書配布　平成18年１月６日～２月１日
■申請書受付　平成18年１月19日～２月１日

詳しくは、市ホームページの入札・契約情報コーナーまたはテレフォン案内(☎38-2061)でご確認ください。

女と男の参画メール

宇宙における男女共同参画

問い合わせ　女性センター　☎38-2023

初めての宇宙飛行は、昭和36年(1961年)に宇宙船ボストーク１号に搭乗した旧ソビエト連邦のユーリ・ガガーリン氏であった。彼が「地球は青かった」という言葉を残したことは有名である。一方女性初の宇宙飛行士は、昭和38年(1963年)にボストーク６号に搭乗したワレンチナ・テレシコワ氏であり、彼女もまた宇宙から発した「私はカモメ」という有名な言葉を世界中に伝えた。また２人目の女性飛行士であるスベトラーナ・サビツカヤ氏は、昭和57年(1982年)にソユーズ宇宙船に搭乗し、さらに昭和59年(1984年)には、女性として初めての船外活動を行なった。 米国女性で初めて宇宙飛行をしたのは、テレシコワ氏から20年後の昭和58年(1983年)にスペースシャトル・チャレンジャー号に搭乗したサリー・ライド氏である。平成17年(2005年)３月末までに宇宙飛行実績のある宇宙飛行士は437人、うち女性は40人であり、およそ男女比11対１である。

日本人初の女性宇宙飛行士は、平成６年(1994年)にスペースシャトル・コロンビア号に搭乗した向井千秋氏である。医学や宇宙生物学など82テーマの実験を遂行し、その功績等により、平成７年(1995年)に「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受けた。さらに平成10年(1998年)にディスカバリー号に搭乗し、２度目の宇宙飛行に成功している。

現在、宇宙航空研究開発機構(ＪＡＸＡ)に所属している日本人宇宙飛行士は８人、うち女性は２人である。テレシコワ氏やライド氏、近年ではわが国の向井氏らの活躍によって、その後の女性宇宙飛行士への道を開いた意義は大きい。

芦屋の人

撮影・桑田敬司(ハナヤ勘兵衛)

私とボランティア活動

廣瀬忠子

先日友人から、戦時中に活躍した戦闘機「紫電改」のプラモデルをいただきました。棚に飾って眺めていますと、女学校四年から二年の間、学徒動員で鳴尾の川西航空機の工場で「紫電改」の部品を作っていたことや、空襲の度に工具を抱えて、逃げ回った当時を昨日のように思い出しました。

昭和二十年終戦。平和が訪れ、新しい時代婦人リーダーとして母（争瀬勝代）が選ばれましたので、私は子育てをしながら母の秘書として、その背中を見て過ごしてきました。

母は戦地から復員してくる人たちを乗せた列車が芦屋駅に四〇分停車することを知り、お茶のサービスを思い立ちました。これが芦屋市婦人会のボランティア活動の始まりでございます。

ところが、進駐軍から、この活動は反米行為だと決めつけられ、ＧＨＱへ呼び出されました。その時に母は、「国のために命がけで働いた息子たちを、戦いに負けたからといって、冷たく迎えることはできない。あなたの母親ならどうしますか？…」毅然として日本の母の根性を示し、その度胸は、今も語り草となっています。

昭和五十七年から婦人会とともにユネスコ・赤十字などを引き継ぎ、微力ですが、私なりに時代に即したことを続けて活動していきたいと思っています。

ユネスコ活動として、世界遺産を次世代へ繋ぐための努力、また世界の文字が読めない人たちへの寺子屋運動の資金作りのために、書き損じはがきを集めたり、多様な活動で頑張っております。

赤十字では救急食袋を考案し、地震の時の救急食として実際に使用されました。また、新潟の地震・インド洋の大津波など大きな災害のたびに街頭に立って募金活動などしております。

日本の伝統文化を守り、茶道・華道の展覧会の開催も大切な行事として毎年行い、国際交流の一助になればと考え、市内在住の外国人をお招きして見ていただき親善を深めたりも致します。

わが家のボランティア精神は祖母から母へそして私に受け継いできました。一人の力は小さくても、いつもこれらの活動を支えてくださる多くのかたがたのご協力に感動し、また次への活力となっていますことを心から感謝しております。

これからも命の続くかぎり私ができるボランティア活動をいっそう励んでまいりたいと願っています。

●争瀬　忠子(ひろせ　ただこ)氏

昭和二年六月生まれ。小学校も女学校も芦屋。春日町在住。

現在、芦屋市婦人会会長、芦屋ユネスコ協会会長、芦屋市赤十字奉仕団委員長、芦屋茶華道協会会長ほかを歴任。

平成十四年、芦屋市民文化賞受賞。このほか、ＩＴＣベストコミュニケーション・オブ・ザ・イヤー賞ほかを受賞。

平成18年芦屋市成人式

「20歳の誓い」発言者募集します

日　時　平成十八年一月九日(月・祝日)午後一時～二時(開場〇時三十分)

場　所　ルナ・ホール

対象者　昭和六十年四月二日～昭和六十一年四月一日に生まれたかた(十二月一日現在、住民基本台帳および外国人登録簿に記載・登録されているかたに、年賀状でご案内します。)

成人式の当日「新成人の抱負・決意等」を発言していただける男女各１人を募集します。ご希望のかたは下記へご連絡ください。

問い合わせ　スポーツ・青少年課　☎22-0358

ラ・モール芦屋入居者募集中

ラ・モール芦屋の「大原町住宅」の入居者を募集しています。

該当するかたは，案内書をご確認のうえ、住宅課へお申し込みください。

■募集数　12戸／２ＬＤＫ(66.80㎡)～４ＬＤＫ(90.80㎡)　■交通機関　ＪＲ「芦屋」徒歩約３分　■家賃　96,400円～　■申し込み　先着順(平日の執務時間内)
■案内書　住宅課で配布　■対象　次の①～⑤に該当するかた。　① 申し込み本人が市内に住民登録し、かつ居住しているかた、または市内に勤務しているかた　※震災時に市内に居住し、家屋の解体証明等が提出できる市外に居住のかた② 現に同居しまたは同居しようとする親族のあるかた(単身者も可)　③ 世帯全員の収入の合計が、政令月収額200,001円以上のかた④ 連帯保証人のあるかた⑤ 市税を滞納していないかた

問い合わせ　住宅課　☎38-2026

簡易耐震診断申し込み受け付け中

わが家の地震に対する安全性を確認します。耐震性が劣ると診断された場合は県の「わが家の耐震改修促進事業」で耐震改修計画策定費などの助成を受けられます。(条件あり)
■対象　昭和56年５月31日以前に着工した住宅※平成12～14年度「わが家の耐震診断推進事業」の診断を受けたかたは対象外)　■個人負担額　3,000円(木造戸建て住宅)　■申し込み　申込書に必要事項を記載のうえ、平成18年１月末までに下記へ。

問い合わせ　建築指導課　☎38-2114

夜間(17:00～9:00)水道修理工事当番表【12月】

水道の修理は「芦屋市指定水道工事事業者」へ

●平日の昼間は水道部へお尋ねください。

●土曜日・日曜日・祝日は市役所(緯31-2121)へお尋ねください。

●夜間の修理は右の業者が待機しています。

店　名	TEL	当番日
㈲大阪商会	32-6302	1、7、13、19、25
西岡設備工業所	22-6900	2、8、14、20、26
前忠工業㈱	31-8548	3、9、15、21、27
中央水道工務所	22-3552	4、17、23、29
原田商会	22-0706	5、11、24、30
越智商会	22-3708	6、12、18、31
(資)神明商会	22-3565	10、16、22、28

問い合わせ　水道部工務課維持担当　緯38-2083

ウィーン交響楽団 ヨハン・シュトラウス　アンサンブル ニューイヤーコンサート2006

■日時　平成18年１月21日(土)午後２時開演(午後１時開場)
■会場　ルナ・ホール　■出演　ペーター・グート(指揮・バイオリン)　■内容　ヨハン・シュトラウスⅠ世、Ⅱ世のワルツやポルカなど　■入場料　4,000円(当日4,500円)<全席指定>前売り券売り切れの場合、当日券は発売しません。※未就学児は入場・同伴できません。　■チケット発売　モンテメール大蓄、市役所売店、文化振興財団事務所、チケットぴあ、ローソンチケット※市民のかた30人をご招待。はがきに住所、氏名、電話番号を明記し(１枚１人)、12月10日(土)<必着>までに下記「ニューイヤーコンサート係」へ。当選の発表は招待券の発送をもってかえます。

ヨハン・シュトラウス　アンサンブル

問い合わせ　文化振興財団　☎31-4962（〒659-0068業平町８－24）